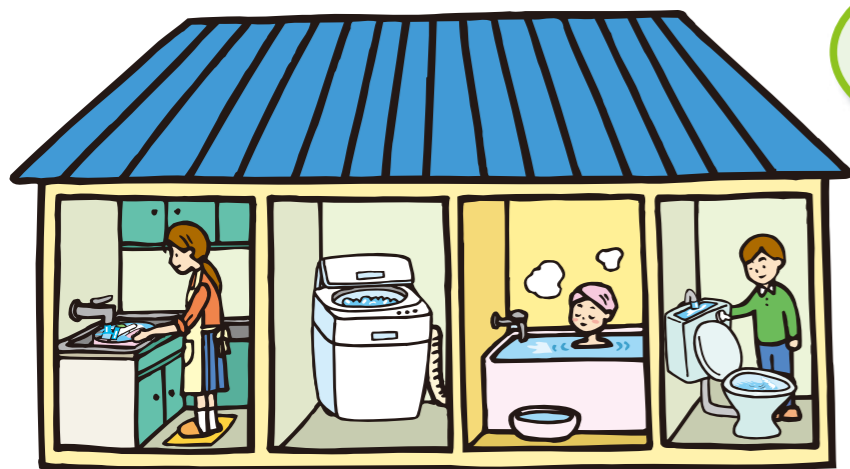


わたしたちは、1日にどれくらいよごれた水を出しているのでしょうか。

◆1人が1日出すよごれた水の量は、およそ210L

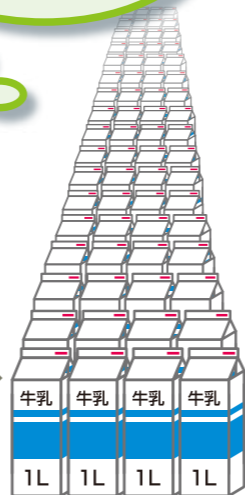


台所・洗たく・ふる・トイレなど

1人が1日出す
よごれた水の量

210L

210Lの水の量とは
1Lの牛乳パックが
210本分の量です。



210本



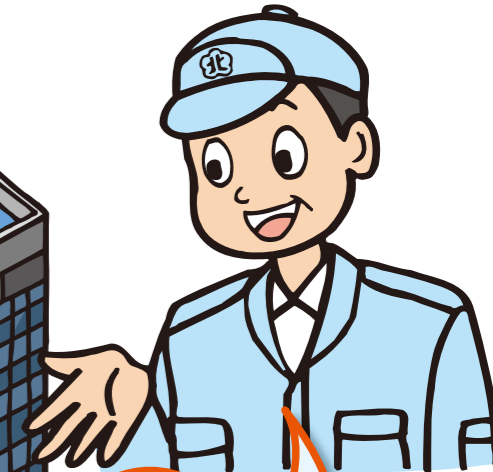
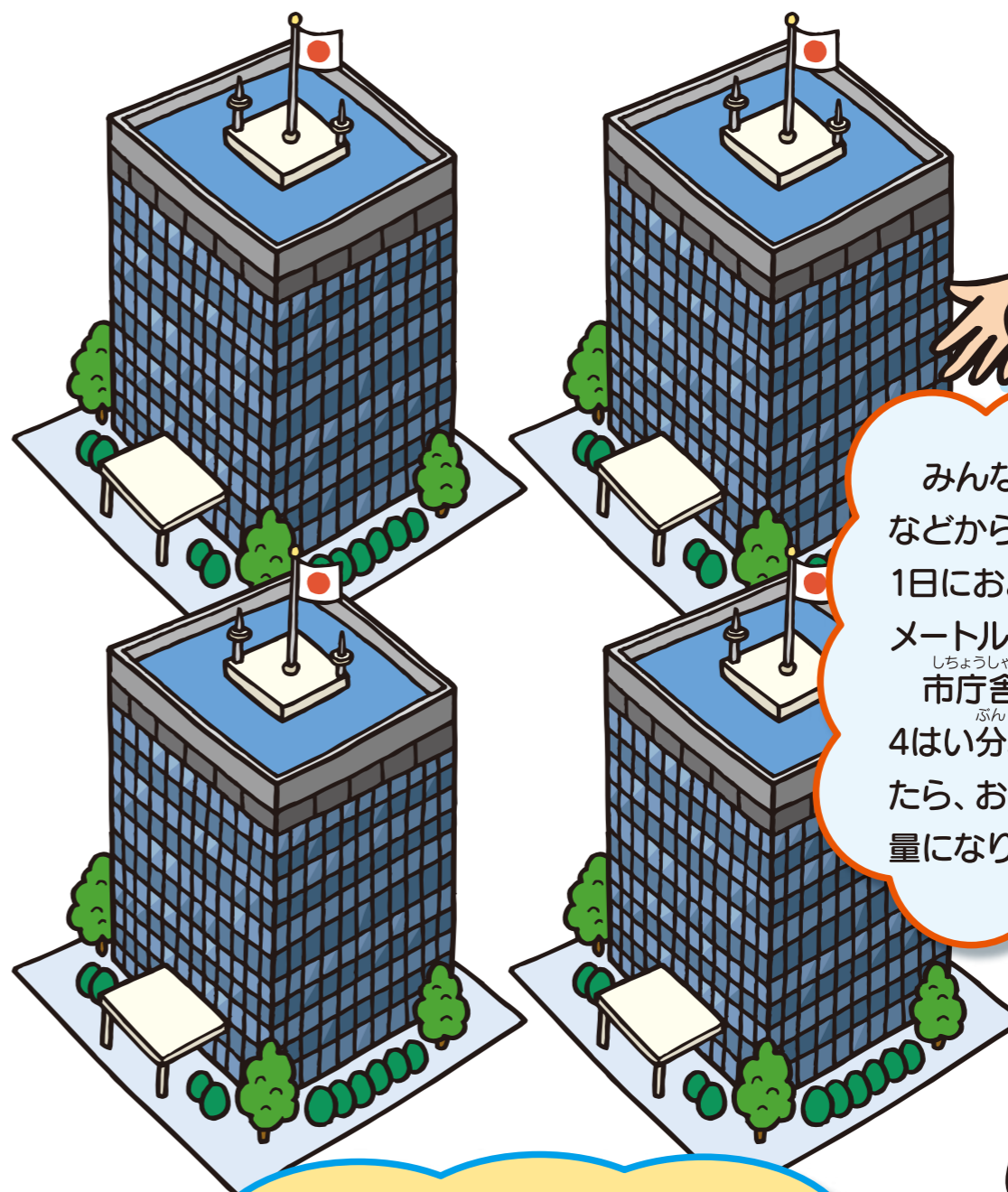
わたしたちは1人1日に210Lもの
よごれた水を出しているんですね。
水を使うということは、よごれた
水を出していることなんですね。

では、北九州市全体でみれば、
1日にどれくらいよごれた水が
出ていると思いますか。



★指導上の留意点★
一度使って汚れた水のことを「汚水」といいます。汚水と雨水を合わせて「下水」といいます。

北九州市全体では、1日にどれくらいよごれた水が出ているのでしょうか。

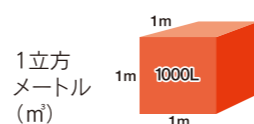


みんなの家や店、工場
などから出るよごれた水は、
1日におよそ41万立方
メートルあります。
市庁舎だったら、およそ
4はい分、学校のプールだっ
たら、およそ1,950はい分の
量になります。

とてもすごい量ですね。
これだけたくさんのよごれた水が、
いったいどこに流れて、どうなってい
るのか、知りたくなりました。



★指導上の留意点★



市庁舎の大きさは、東西45m、南北42m、高さ58.1mで容量は109,809m³です。
(410,000m³÷109,809m³=3.7 約4杯分)
小学校のプールの容量は約210m³です。
(410,000m³÷210m³=1,952 約1,950杯分)
※処理量(410,000m³)には雨水処理量を含んでいるため給水量(P5)と量が異なります。
410,000m³には雨水が含まれていることを説明して下さい。